

平成28年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	所管部局	総合政策部	作成責任者	総合政策部長 窪田 毅	施策コード	02	11
		照会先	政策局 総合教育班 21-176	関係課	政策局			

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)	総合計画の指標
		3 人・地域	(2)北海道の未来を拓く人材の育成	グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成	国際理解教育を行っている公立高校の割合
	北海道創生総合戦略	A1212, A2421, A2423, A3963	北海道強化計画	-	新・北海道ビジョン
特定分野別計画等	北海道総合教育大綱				
現状と課題	<p>・人口減少やグローバル化が急速に進行する中で、北海道が活力ある地域として発展し続けていくためには、世界へのチャレンジ精神や国際的なコミュニケーション能力などを有し、どのような環境にあっても北海道を常に心において、世界を相手に活躍するグローバル人材や、既存概念にとらわれないアイデアで「新たな価値」を創出するイノベーション人材の育成が必要となっている。</p> <p>・また、北海道の子供達が、おかれた環境によらず、将来の夢に向かって、個性と多様な能力を最大限伸ばすことができるよう、挑戦の機会を増やしていくことが重要である。</p>			施策目標	<p>・オール北海道で協働して、世界で活躍できる人材の育成を推進する。</p> <p>・厳しい環境におかれている子供達や、文化、芸術、スポーツ分野での活躍や海外での学びを志しながらも経済的な理由が制約となっている子供達への支援に向けて取り組む。</p> <p>・活力ある未来を拓くため、既存概念にとらわれないアイデアで「新たな価値」を創出する人材の発掘・育成を推進する。</p>
施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>【グローバル人材育成方針】 (道)案検討委員会の設置・運営・管理、方針の普及啓発や具体的な施策の推進 指針の検討(産官学で協働)、指針に基づく若者の留学支援に向けた検討 など (国)グローバル人材育成に関する意見交換、情報提供 など (市町村)委員会への参画、グローバル人材育成に関する意見交換、情報提供 など (民間)案検討委員会への参画、グローバル人材育成に関する意見交換、情報提供 など</p> <p>【北海道未来人材応援基金(仮称)】 企業や関係団体等が参画する準備会議を立ち上げて検討を進める予定</p>			施策の予算額	
				H27	1,000
				H28	775
				H29	
今年度の主な取組	<p>方針をより実効性あるものとするため、道民への周知や理解促進を図るとともに、様々な主体が行う取組への参画などについて、その方策を検討する。</p> <p>各主体がそれぞれの立場で方針を踏まえた取組を進めることが期待され、北海道としてもグローバル人材育成に向けた取組を推進するための具体的な施策について検討する。</p> <p>基金については、できるだけ多くの企業や関係団体の賛同を得て、設立に関わっていただくため、設置に向けた準備会議を立ち上げて検討を進め、平成28年度中の基金創設をめざして取り組む。</p> <p>道内大学と連携して雇用創出・企業誘致・新産業創造への支援や若者定着の取組を実施し、地域の将来を支える人材の育成や地域の活性化を推進する。</p>				

1 - 2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果		(関連する計画等)		
実 績 と 成 果 等		総合戦略	強靱化	ビジョン
多様な関係者へのアンケート調査や意見交換会、北海道グローバル人材育成方針案検討委員会での検討を踏まえ、道内の多様な関係者が、本道の課題と求められる人材像を共有し、互いに連携を深めながら協力して取り組んでいくための考え方として、「北海道におけるグローバル人材の育成に向けて(案)」を作成。(8月中に決定予定)		A2421		C06301,C06302
北海道未来人材応援基金(仮称)について、庁内関係部課で構成する連絡会議の開催(H28.3)により緊密な連携を図り、関係課との打合せ(H28.4~6 5回実施)を実施して基金による支援事業等の検討を行うとともに、企業や関係団体に参画いただく検討会議の開催に向け準備を進めた。		A1212,A2421		C06301
北海道科学大学・北海道科学大学短期大学部と、北海道の活性化に向けて相互に連携・協力しながら、協働事業に取り組むことを目的とする包括連携協定を締結したことにより、大学の技術や知見についてまちづくりや人材育成への活用が期待できる。		A2423,A3963		C06501
室蘭工業大学等4工大4高専が中心となり実施している「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」について、振興局や本庁関係課も参加した地域連携体制を確立したことにより、円滑な情報交換が行われるようになった。		A2423,A3963		C06501
(2) その他の取組の成果等				
国等提案・要望状況		施策に関する道民ニーズ	海外留学が進まない理由として経済的負担や就職活動への支障があることや、留学経験で培った知識等を十分に活かして活躍できる場が少ないこと、道内におけるグローバル人材育成に関するネットワークが必要であることなど、グローバル人材育成に関する道内の課題やニーズを以下の場で把握。 ・北海道グローバル人材育成方針案検討委員会 (大学教授、国際交流団体等で構成し、H27.12~H28.5にかけて計3回の会議を開催) ・道内の多様な関係者に対するアンケート調査 (学校、経済団体、行政機関等に対し、H27.12~H28.1、H28.4に調査) ・意見交換会 (企業、国際交流団体、行政機関、国際交流員、留学生などとH28.1~2にかけて実施)	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の 位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
	北海道グローバル人材育成方針を検討するため、産学官の多様な関係者とともに組織する「北海道グローバル人材育成方針案検討委員会」を立ち上げ、緊密な連携を図り、検討、協議、調整を実施	N1108	教育庁高校教育課	「北海道グローバル人材育成方針案検討委員会」に構成員として参画するとともに、意見交換会やアンケート調査などを連携して実施することにより、「北海道におけるグローバル人材の育成に向けて(案)」に有効な意見を反映。

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31					
国際理解教育を行っている公立高校の割合		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H31	達成度合	A	評価年度	H27	各学校において海外からの留学生や海外からの旅行団の受入などの体制が徐々に整備されてきているとともに、授業や行事等におけるALTの活用が促進されるなど、効果が現れている。教育庁と指標を共有し、当施策はグローバル人材育成の観点から関与。
		基準値	71.0%	目標値	82.6%	最終目標値	100%	年度	H27	H28	進捗率	
〔指標の説明〕 姉妹校等の生徒との交流会や外国人等による講演会など国際理解教育を行っている公立高等学校の割合	根拠計画 北海道教育推進計画	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値	78.3%	82.6%	100%	
				増加		$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	83.8	-	83.8	
								達成率	107.1%	-	83.8%	

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合		評価年度		達成度合の分析 ほか
		基準年度		年度		最終年度						
〔指標の説明〕		基準年度		年度		最終年度		達成度合		評価年度		
		基準値		目標値		最終目標値		年度	H27	H28	進捗率	
〔指標の説明〕	根拠計画	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値				
								実績値				
								達成率				

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合		評価年度		達成度合の分析 ほか
		基準年度		年度		最終年度						
〔指標の説明〕		基準年度		年度		最終年度		達成度合		評価年度		
		基準値		目標値		最終目標値		年度	H27	H28	進捗率	
〔指標の説明〕	根拠計画	根拠計画		増減方向		達成率の算式		目標値				
								実績値				
								達成率				

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合		評価年度		達成度合の分析 ほか
		基準年度		年度		最終年度						
〔指標の説明〕		基準年度		年度		最終年度		達成度合		評価年度		
		基準値		目標値		最終目標値		年度	H27	H28	進捗率	
〔指標の説明〕	根拠計画	根拠計画		達成率の算式		達成率の算式		目標値				
								実績値				
								達成率				

本施策に成果指標を設定できない理由								判定	A	B	C	D	-	結果
								(直近の達成率(%))	100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可	
								主要指標	1					
								関連指標						

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02	11
-----	-------------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	【施策間の連携状況(関連する施策間・部局間で一層の相互連携が必要)】 総合計画における「北海道の未来を拓く人材の育成」を進める観点から、知事部局と教育庁の連携により、より効果的な取組を検討すること。
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02	11
-----	-------------	-------	----	----

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)						二次政策評価		主な対応		
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
02060900	「北海道未来人材応援基金(仮称)」検討事業費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小			

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02	11
-----	-------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<p><新たな取組等> 北海道に貢献する意欲のある若者が海外において自らの資質の向上に挑戦することを応援し、北海道の将来を担う人材の育成を図るために、平成28年12月に創設したほっかいどう未来チャレンジ基金を活用して、本道の学生や社会人に対し、海外留学や海外研修、国際コンクール参加経費等を助成する「北海道未来人材応援事業」を実施する。 本事業の実施にあたっては、産学官で構成する「ほっかいどう未来チャレンジ応援会議」により、学生の募集や選考、事業の見直し等を行っていく。 また、平成28年9月に作成した「北海道におけるグローバル人材の育成に向けて」を様々な機会を通じて、経済界や大学等に周知する。</p>
	<p><新たな取組等> 北海道に貢献する意欲のある若者が海外において自らの資質の向上に挑戦することを応援し、北海道の将来を担う人材の育成を図るために、平成28年12月に創設したほっかいどう未来チャレンジ基金を活用して、本道の学生や社会人に対し、海外留学や海外研修、国際コンクール参加経費等を助成する「北海道未来人材応援事業」を実施する。</p>
	<p><新たな取組等> インターンシップや助成金等の情報提供といった経済部との更なる連携や、関係振興局と地域経済団体等を巻き込んだCOC+実務者会議との合同TV会議の開催、COC+事務局からの要請に基づく道関係部署の個別連携事業の調整等、大学等との更なる連携・情報共有を推進する。</p>

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応
<p>< 施策間の連携状況（関連する施策間・部局間で一層の相互連携が必要）></p>	<p>知事部局と教育委員会との連携チーム会議を開催し、相互連携を深め、「北海道におけるグローバル人材の育成に向けて」や「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を両機関においてより広く周知するとともに、情報交換により人材育成の機運醸成に資する今後の取組を検討する。</p>		

平成28年度 基本評価調書

施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	02	11
-----	-------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	事業	事業	事業	1 事業	事業	事業	事業	1 事業
反映結果	事業	事業	事業	1 事業	事業	事業	事業	1 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
1 事業